

令和6年度 第2回東郷町地域包括支援センター運営協議会会議議事録

日 時	令和7年3月7日（金）午後2時から午後3時30分まで
場 所	役場3階 政策審議会室
出席者	委員（敬称略、順不同） 石川 洋子 被保険者代表 野々山 郁 医療関係者 磯村 敏文 福祉関係者 三宅 智 医療関係者 古橋 完美 保健関係者 住田 敦子 権利擁護関係者
欠席者	制野 司、松山 陽二
傍聴者	なし
事務局	健康福祉部長、高齢者支援課4名 東郷町北部地域包括支援センター1名 東郷町南部地域包括支援センター東郷苑1名
議 題	1 あいさつ 2 報告事項 (1) 居宅介護支援事業所の介護予防支援新規指定について【資料1】 (2) 令和5年度東郷町地域包括支援センター事業評価について【資料2】 3 議題 (1) 令和7年度東郷町地域包括支援センター運営方針（案）について【資料3】 (2) 令和7年度東郷町北部地域包括支援センター事業計画（案）について【資料4】 (3) 令和7年度東郷町南部地域包括支援センター東郷苑事業計画（案）について【資料5】
配布資料	次第 資料1 居宅介護支援事業所の介護予防支援新規指定について 資料2 令和5年度地域包括支援センター事業評価 資料3 令和7年度東郷町地域包括支援センター運営方針案 資料4 令和7年度東郷町北部地域包括支援センター事業計画案 資料5 令和7年度東郷町南部地域包括支援センター東郷苑事業計画案 委員名簿

1 あいさつ

2 報告事項

(1) 居宅介護支援事業所の介護予防支援新規指定について

事務局	資料説明。資料1
副会長	ただ今の事務局の説明で、なにか質問ないか。 なければまた終了後でもお問い合わせいただきたい。

(2) 令和5年度地域包括支援センター事業評価について

事務局	資料説明。資料2
副会長	ただ今の説明で、なにか質問等あるか。
委員	初めてなのでわからないことがあり、教えていただきたいと思う。 この6つの評価指標というのは、評価するのは自己評価でよろしいか。
事務局	基本的に国が示している指標になるが、各包括がそれぞれ自己評価という形で評価している。
委員	<p>包括がそれぞれ指標に基づいた事業評価をされていて、色々なことをされているのはこの資料で分かった。</p> <p>ただ、この包括の事業評価を含めてこの会議の目的とは、他の市町でも地域包括ケアシステム検討会などに参加している。そこでは、同様に包括の事業を含めた会議だが。</p> <p>この会の目的そのものが、地域包括ケアシステムの構築に向けた会議という位置付けでよろしいのか。</p> <p>そうすると、この事業評価を踏まえて地域包括ケアシステムの構築に向けたそこからの課題や、そこに向けた事業、町としてこの施策に向けてやっていくというような、この評価と連動するようなものというのは、どういう風に考えておられるのか。</p> <p>評価は評価で、評価を踏まえて地域包括ケアシステムにおいて、どういったことがこの事業評価と関連しているのかということを知りたい。</p> <p>あと、地域ケア会議を地域ケア会議から出た個別課題から地域課題を抽出してその地域課題の検討に向けた会議が必要だと思うが、この会議がその位置付けなのか。そうではないのか。</p> <p>地域ケアシステム、地域課題の検討との関連を知りたい。</p>
事務局	<p>この会議では、地域包括ケアシステムのひとつの役割を担っている地域包括支援センターの運営を判断するところというイメージである。</p> <p>もうひとつ、町としての個別の課題や大きい課題などを検討する場合は包括が主催する「地域個別ケア会議」や「多職種カンファレンス」で出た課題を「地域ケア推進会議」が東郷町の中で一番全体的な地域包括ケアシステムを考える会議の場になっており、出てきた課題をこちらの方で話し合うという仕組みになっているイメージである。</p>
委員	そうすると、この会議は包括の事業評価のための会議という形か。
事務局	はい。国がこのような形で進めていきなさいというものに対して出来ている

	かという、評価をする会議という意味合いが強い。
委員	評価会議ということか。
事務局	はい。個別の課題を見つける、個別の課題を解決するというよりは国から求められている包括支援センターの業務が順当に方針に基づいて計画が立てられて、実際に運営できたかどうかを確認していく会議という形になっている。
事務局	もちろん地域包括ケアシステムの形成に関するという側面もあるとは考えているが、ひとまずこちらでは包括の運営に関する課題をあげていき、最終的に地域包括ケアシステムの課題の一部として取り扱うというもの。
委員	包括の課題を踏まえてより良い地域包括ケアを目指していくために評価をして包括の機能を充実していこうという、そういった目的の会議ということで良いか。
事務局	はい。
副会長	他に質問はあるか。
委員	もうひとつ。資料の中で評価基準が色々あるということで良かったか。例えば、成年後見制度の市町村長申し立て判断基準を共有となっているが、共有していれば○ということか。
事務局	はい。出来ていれば○。○か×か、で回答していくものである。
委員	こういう項目がたくさんある？
事務局	はい。50項目ほどあり、それに関して出来ているかどうかを回答していくというものになる。
委員	承知した。
副会長	ありがとうございます。他にはあるか。なければ次に進む。

3 議題

(1) 令和7年度東郷町地域包括支援センター運営方針（案）について

事務局	資料説明。資料3
副会長	事務局から説明を頂いた。運営方針案についてなにか質問はあるか。なければ、次に進む。

(2) 令和7年度東郷町北部地域包括支援センター事業計画（案）について

北部包括	資料説明。資料4
副会長	北部の事業計画案について、質問はあるか。なければ次に進む。

(3) 令和7年度東郷町南部地域包括支援センター東郷苑事業計画（案）について

南部包括	資料説明。資料5
副会長	ただ今の南部の説明について、何かご質問はあるか。 では、私の方から一点。民生委員との連携について現場のみなさんからしたらうまくやれているのか、もっとこうしてほしいなどあるか。もしあれば。 というのも、結構民生委員もどうしたらいいか悩んでいることがあり、そん

	<p>な中でこういう形を出していただいて連携してやるとなっている。ただ、どこまで踏み込んでいいのかという距離感も色々あり、前も言ったが、みなさん連携してコミュニケーション取りながらやっていけたら地域のニーズがより拾えるのではないかと思った次第で話をさせていただいた。</p>
南部包括	<p>どこまでというところはあるが、みんなお互い知らない人だと話をしない、相談しない。</p> <p>何が良いかというサロンに行くとき民生委員さんがいるので、そこで何気ない話をしていく内に関係性が出来て、「こういうこと言っても良いのかな」ということも言ってもらえることがあり、それが大事な内容だったりする。それが凄く助かっている。</p>
副会長	<p>承知した。ありがとうございます。</p> <p>その他ご意見等ご質問などあればお願いします。</p>
委員	<p>計画をみた時に、自分がそういう世代に入るということもあるが、インフォーマルサービスに子どもが入ると良いと思う。</p> <p>自分が年を取ると子どもがいてくれたらいいと思う。何かそういったもので全国他市町の先進事例はないか。そういうのは夢があって良い。その感覚は大事だと思う。子どもがいると老人は元気になる。インフォーマルサービスはインフォーマルなのだから餅つきやるとかなんでもいい。自分が年を取って感じるのは子どもがいると元気になる。良いと思う。</p> <p>具体的なものは、先進事例をみて東郷町で出来るものがあれば入れてほしいという希望がある。</p>
副会長	<p>貴重なご意見ありがとうございます。世代的にわかる。</p>
事務局	<p>南部の認知症カフェだと親子が来ていたりしている。</p>
委員	<p>そういうところから進めて、何かあれば面白いと思う。</p>
副会長	<p>他に何かあれば。</p>
委員	<p>他の運営協議会にも出たりするが、やはり包括はいろんな事業をやっていて、ケースも困難事例も多く、凄く大変だと聞いている。</p> <p>たくさんのことやられていて、ケアプランを作成するに当たり、先ほど事業所が新たに指定されたと聞いたが、介護プランを作るのが凄く大変で他の市町だと大変な状況だと聞く。東郷町ではどうか。とりあえず包括の中で処理出来ているのか。</p>
南部包括	<p>東郷町はケアマネ事業所が少ない。委託することも可能だが、いっぱいだったり、要介護だけ受けると言われたりする。</p> <p>事業所は受けられる件数に上限もあるため、しょうがないと思いつつも包括は上限がないため、東郷苑が受けってくれるところにはなりましたが、具体的にはどうなるのか。</p>
事務局	<p>東郷苑が指定に手を挙げていただいたときに、どういった利用者さんを念頭において今後されるか聞いたが、法人の事業団としては、国の制度として予防</p>

	<p>支援が加わったので指定を受けておくがどういった方を中心にやっていくかは決めていないようだった。</p> <p>しかし、方向性としては先程も申し上げた通り、将来的に要介護になる可能性が高いかなという方を中心に受け入れていきたいと言ってはみえた。</p>
委員	<p>2025年の今年、団塊の世代が後期高齢者になり、恐らく減ることはない。受け皿になるようになると良いが。</p>
副会長	<p>ありがとうございました。では、次どうぞ。</p>
委員	<p>行政のことははっきり言って全然分からないから色々聞く。この会議2回出させていただいている感想も含めてだが、この事業評価は行政としてやらなきゃいけない、運用していかなければいけない取り決めの元、実施していると思うし、当然町の予算でセンター運営されていることにおいてでも言うと、まず評価項目をつけること自体になんの目標があるのかが分からない。</p> <p>例えば、企業であればこの目標をこれだけの数値を達成するためにこの評価をしているということをしなければならない。あまりに評価項目自体があまりに分かりにくい。だから何という感じ。</p> <p>もうひとつ。事業計画もそうだが、私たちが計画を立てる際に、この数字をここまで減らしたいという様なものに基づいて計画している。包括が大変なことはわかるが、どのアウトカムに向けてどれだけの事業にどのくらい注力してやるのかということが整理整頓するというのが、みなさんが分からずに忙しくなってしまうのか。</p> <p>アウトカムがどうなのかと言えないことがあるのかもしれないが、はっきりさせるところが効率化に繋がるし、負担も少なくなると思う。</p> <p>計画と言って「こういう風にやります。随時やります。何回やります。」何回やることを達成するだけになる。</p> <p>それだけでない地域の認知症の人の利用率であったり、具体的な目標が無いと「計画立てました。やりました。とりあえずこなしました。終わりです。」で、中途半端なところしかやっていることが見えない。</p> <p>目標の設定や、事業の計画表が予定表にしかすぎない。</p>
事務局	<p>私見でいけばごもっともな意見かと思いますが、包括としてやらなければいけないことがある。</p> <p>先程の50何項目指標があるとお伝えしたとおり、国から細かくやることが出てくる。国の指標は本当に全国的な指標なだけであって本当は東郷町として注力していきたい、例えば、南部であれば認知症のことを注力してみなさんに理解してほしいなどがあったり、北部は北部なりに高齢化率が高く、諸輪住宅があり、介護認定受けている方が多かったりという、地域課題が（南北）バラバラなのに、求められる指標も達成していかないといけない。点数が悪いと補助金が減らされることもあるという中で事業評価をやっていただいているところ。</p>

	<p>先生のおっしゃるとおり、数値的なものがあれば良いが、なかなかその評価のところまでたどり着いていない。例えば、保健所の方が言われたとおり、団塊の世代が後期高齢者になり、新規申請（の要支援者）が年間180件ほど出てきている。今までは100件前半だったものが1.5倍と増えてきている。ケアプランも一生懸命やっていただく中、本来の（要支援者を減らす）介護予防や集いの場などに注力していく状況である。</p> <p>数値目標は無いが、各々包括とやり取りしながら認知症の施策などは集まって課題を共有して町のやること、包括のやることなど具体的な取り組みをやらせていただいているが、この計画に何か認知症の数値を載せるところまで手が回っていない。課題に追われている。確かに事業を乱立させていたりするかもしれない。</p> <p>「うまく行ったところはもう少し広げようか。」や、「ここはうまくいかなかったから違うようにやっっていこうか。」など、実際にやってみてのPDCAサイクルでの対応であり、「数値があつて」という形になっていない。</p> <p>また、計画の目標は立てたいところだが、高齢化率が進んでいくなかで思ったとおり進めていけるかという、違う展開が見えてくることもある。他の市町を参考にできるかという参考ができないこともある。</p> <p>言い訳の難しいところがありながら、事業を進めさせていただいているところである。</p>
副会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>包括が一生懸命されているということは分かる。こういう分野はこれをやったからこうなるというわけでない。その人とフェイス to フェイスでどのように関わるのかと、そこに運営や営業とか、実績が絡んでくるので、みなさんご苦労があるかと思うが、基本的には十人十色があるのでその特性を見ながらやるということ。</p>
委員	<p>確かに個別の対応になるのは分かるし、頑張っているのは分かるし、大変なのは分かるが、「これを達成した」がないと（包括が）報われない。「これを達成した」がないと予算もつかない。そういった分かりやすい指標にしていけない。若い子は指標に慣れており、フェイス to フェイスといってもそれで判断しない。この目標をどれだけ達成できていますよという指標を掲げていけなくていい。何か指標があった方が良いのではないかということ。</p>
事務局	<p>指標があるとすれば高齢者福祉計画に載っているものになるか。</p>
委員	<p>いいじゃない。やりたいことやっていけば。夢がある会議にしないと。この内容では意見は言えないがそれを分かった上で、（他に）北部でこういうことやりたい、南部でこういうことやりたい。そういう話がしたい。その方が意見言える。これだけの人が集まって話をするのだから。</p>
委員	<p>全然分からないと思ったのは、「なんの会議なのですか」ということ。 大元に高齢者福祉計画があつて、地域ケアシステムの基盤を作るための運営</p>

	<p>会議もそうで、その中の包括がさらにどういう業務をやっていて・・・具体的な滅茶苦茶各論の中で総論が見えない。</p> <p>全体の位置付けと包括でも色々な事業をやっていて、それが地域ケアシステム、地域共生社会の大きな枠で言ったらどこに位置付いているのか、何に向かっているのか、というのを私たちも共有できると。</p> <p>「今、このところを話し合っているのだね」とか、もっと大きな「子どもを交えて事業をやるという」施策的なことでも、町としてどうやって具体的にやっていくと良いのかということのをせっかくだったらみなさんの知見も生かしながらご意見いただけるような会議になるといいのかと思う。</p> <p>また、一点。資料の中の運営方針でここに在宅医療・介護連携推進事業に電子@連絡帳のことが各包括の事業計画に含まれているので、こちらにも含めたいかがか。</p> <p>電子@連絡帳使って多職種連携を図っていくだとか、事業所ごとに活用バラつきがあると思うので推進していくなど含めて書いていただくと良いのかなと思う。</p>
--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3 その他

<p>副会長</p>	<p>ありがとうございます。他にないか。</p> <p>今回は各委員貴重なご意見をいただいた。</p> <p>なければ議題は最後になる。長い時間ありがとうございました。</p>
<p>事務局</p>	<p>磯村副会長、ありがとうございました。</p> <p>続いて、事務連絡をさせていただきます。</p> <p>今年度の地域包括支援センター運営協議会は、今回が最後となる。ありがとうございました。</p> <p>来年度、第1回目の開催については、令和7年7月ごろを予定している。各地域包括支援センターの事業実績などをご報告する予定である。</p> <p>改めて、開催の案内をお送りするので、よろしく願います。</p> <p>これをもちまして、令和6年度第2回東郷町地域包括支援センター運営協議会を終わる。長時間にわたりご審議いただき、ありがとうございました。</p>

以上